

今年は、12 点の作品が県内各地より出展されています。

大賞は小杉花作り同好会さんの作品で、随所に春の芽吹きを感じさせる工夫がなされている作品であり、又、細部にわたるまで、丁寧な作りこみがなされており、コロナ禍の終息を願う気持ちが込められた心温まる作品となっていることが評価されました。

次に、優秀賞の東野尻 花と緑の推進協議会さんの作品は、チューリップのみずみずしさに、ひときは力強さが感じられ、春の息吹を待ちわびる心の躍動感が前面に押し出された、見る人に勇気と活力を与える作品となっている点が評価されたと思います。

その他の 10 作品においても、このコロナ禍の中で、何とか明るい未来に向けて進もうとする力強さが随所に表現されており、それぞれ見ごたえのある作品であったかと思えます。

続いて、私の寄せ植え部門ですが、今年は 24 点が出展されており、その中の 8 点が初出展となっています。初出展とはいえ、その完成度は非常に高く、審査時点では他の作品と同レベルの勢いがあり、24 点のどれが入賞してもおかしくないと思われました。

あとは、審査員の好みで選ぶしかなかったのですが、一般の方の投票と合わせると、どの作品が賞を取るか、先ほどまで全くわからない状態でした。

入賞された皆様には、誠におめでとうございます。

結びに、出展して頂きました多くの皆様と、お世話を頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。簡単ではございますが、講評とさせていただきます。

有難うございました。